

土佐町地域の将来ビジョン

地域名	土佐町	地域協議会名	土佐町農村集落活性化協議会
都道府県名	高知県	市町村名	土佐町
基幹集落名		関係集落名	土佐町全域
主産業	農業 ・ 林業 ・ 漁業 ・ その他()		

1. 地域の状況

人口・世帯		H12(10年前)	H22(現在)	特徴(コメント)
	人口	5,035	4,358	出典 国勢調査 人口が減少する中、高齢者数は増加しており、少子高齢化が進展している。
	男	2,353	2,039	
	女	2,682	2,319	
	0～14歳	623	403	
	15～64歳	2,642	2,083	
	65歳以上	1,770	1,872	
	人口増減割合(対10年前)(%)	—	86.6	
	高齢者(65歳以上)割合(%)	35.2	43.0	
	世帯数	1,909	1,799	
	高齢者(65歳以上)のみ	611	670	
	高齢者のみ世帯割合(%)	32.0	37.2	
	平均世帯人員数(総人口/世帯数)	2.6	2.4	

農家戸数		H12(10年前)	H22(現在)	特徴(コメント)
	農家戸数	568	533	出典 農林業センサス ←販売金額が50万円以上の農家数 農業者が減少し、高齢農家の割合が増加している。
	専業農家	62	64	
	兼業農家	338	292	
	15～64歳	1183	691	
	65歳以上	753	497	
	農家増減割合(対10年前)(%)	—	75.9	
	高齢農家(65歳以上)割合(%)	58.0	66.6	

農地面積		面積(ha)	割合(%)	特徴(コメント)
	水田	287	82.7	出典 農林業センサス 水稻栽培が主軸。施設園芸の農地面積は少ない。
	畑	41	11.8	
	耕作放棄地	19	5.5	
	計	347	100.0	

	施設名	各集落における施設の状況								概要、課題、要望など
		田井 (●)	森 ()	相川 ()	地蔵寺 ()	平石 ()	石原 ()	和田 ()	瀬戸 ()	
地域内の生活基盤等の状況	生活・医療関連	役場本庁・支所・出張所	○	○		○		○		地域の核となる施設であり、今後とも生活サービスの拠点となるため存続を希望する。
		公民館・集会所	○	○	○	○	○	○	○	各集落に集会所等はあるが、人口が少ない集落では施設の維持が困難になっている。
		銀行・郵便局・ATM	○	○		○		○		田井に銀行あり。森に郵便局、田井・地蔵寺・石原に簡易郵便局。森に農協の金融窓口、地蔵寺・石原にATMあり。
		買い物場所(商店など)	○	○	○	○	○			田井地区にはスーパー・コンビニ・ドラッグストアあり。相川・地蔵寺のJA店舗の閉店が危惧される。車の運転が困難な高齢者は移動販売車を利用している。
		病院	○							病院は2院あり。町内に診療所はない。
	教育関連	小学校		○						平成20年に6校(田井・森・相川・地蔵寺・平石・石原)を1校に統合。
		中学校		○						昭和58年に統合。
	交通関連	路線バス								路線バスが維持されているものの便数が少なく、高齢者は中心部への通院や買い物等に不便を感じている。
	その他	農産物の集出荷施設		○						農家の高齢化により、集荷場までの出荷に困難な農家もいる。出荷額も減少してきている。

※ 地域内の基幹集落においては、集落名の()に●印を明記する。

	名称等	概要
地域資源の状況	環境自然	瀬戸川渓谷・水環境
		瀬戸川渓谷は紅葉の時期には観光客が訪れ、アメガエリの滝もある。香川県や高知市への水源地でもあり、町内の水道水や農業用水の水質もよい。
		棚田
		町内複数の地区で棚田があり、観光資源となりつつある。
		稲叢山他
		登山客あり、稲叢山周辺で有志が桜を植樹などしている。
	文歴化史	平石の乳イチョウ
		国の天然記念物。
	祭行伝り事統	南川百万遍祭り
		7月に南川において、五穀豊穡、家内安全を祈る伝統的なお祭り。
地域資源の状況		各地区の納涼祭・運動会
		町内5か所で納涼祭(一部では相撲大会などもあり)や運動会が開催されている。
		やまびこカーニバル
		8月に早明浦ダム近くで行われる夏祭りイベント。
	特産品	米・野菜
		棚田で栽培したり、堆肥を使用しての特別栽培米がある。米ナス・ピーマン・シシトウ他を「れいほく八菜」としてブランド化。
		土佐あかうし
		褐毛和種(高知系)の和牛。近年人気が出てきたが高齢農家が離農で減少しており、町の施策として畜産基地を建設し増頭を図りつつある。
		柚子・柚子加工品
		平成26年度にはヨーロッパに輸出。加工品をJA(ジュース・ボン酢他)、町内企業(リキユール類・ドレッシング他)が製造。
その他		木材(杉・桧)
		町内の林野率は84%で杉や桧の産地である。
		日本酒
		「桂月」を酒造会社が製造。地元産米を使った限定品も製造。
		早明浦ダム
その他		西日本有数の多目的ダム。11月には湖畔がコースのマラソン大会も開催。
		観光農園
		町内に2ヶ所の観光りんご園あり。桃園ではオーナー制度もあり。
		生活基盤等整備状況
その他		町内全域で光ファイバー網が整備されている。公共下水等も町内全域で接続可能である。
		医療・福祉の状況
その他		主に高齢者の健診が充実している。子育て支援対策の取り組みがあり、移住者にも概ね好評である。

地域内の組織や人材の状況	区分	団体名	代表者名	取組の概要	取組の課題等
	地域の農業生産に関する取組	土佐れいほく農業協同組合	代表理事組合長 西村行雄	地域の牛ふん堆肥等活用し循環型農業や地域特性を活かした環境にやさしい農業を推進し、水稻・野菜などをブランド化して生産販売を行っている。棚田での米粉用米の生産も盛んに行われており、米粉製粉工場で米粉加工品の製造販売を行っている。直販生産部の部員等を中心に、農産物の町内外直販所への出荷も行われている。	地域の農業振興には、地域の担い手と安定的な生産量の確保が必要である。については、高齢化により農産物の出荷が困難になる生産者が増えることが想定されることから、営農が継続できるよう生産基盤の維持や庭先等集荷サービス等も今後必要である。
		株式会社 れいほく未来	代表取締役社長 西村行雄	農作業の受託。自社で「れいほく八菜」やその他の野菜を生産。肉用牛(褐毛和種「土佐あかうし」)の飼養。JAより米粉加工及び米粉等の販売の受託。	農作業受託にかかるオペレーターや農作業従事者の育成。野菜及び畜産物の販路の確保。安定した会社運営のため利益率の向上が必要。
		クックビズ株式会社	代表取締役社長 藪ノ賢次	基幹事業である、飲食店に特化した人材サービスにおける、関東/関西都市圏の飲食店向け販路を活用し、れいほく地域や高知県下の農作物の地産外商を図る。2015年2月よりサテライトオフィスをシェアオフィス相川に開設。	集荷場運営や庭先集荷、直接販売向けの有望品目の実験栽培などを手がける株式会社れいほく未来との連携強化、都市圏飲食店の農作物に対するニーズ等の情報共有がより一層求められる。
	地域の暮らしに関する取組	土佐町地区長会	会長 藤原孝一	地域の自治活動の主となる組織の代表者からなる組織。町等からの連絡事項の周知や自治会活動を実施。	地区毎に役員を選出しているが、高齢化が進んだ集落では役員のなり手が少なく、集落活動の継続が困難な地区も出てきている。
		土佐町社会福祉協議会	理事長 山下秀雄	土佐町の社会福祉増進のための活動を行う。介護サービス事業実施。主に高齢者向けの行事なども実施。	高齢者向けの行事については各地区を持ち回りで実施しているが、常時実施は経費面で困難であり、高齢者等の見守り体制が必要。
		合同会社 いしはらの里	代表社員 筒井五郎	石原地区で閉鎖した農協店舗でガソリンスタンド・店舗運営。	イベントなども実施しているが集客及び安定的な会社運営費の確保が課題。
	地域の活性化に関する取組	NPO法人れいほく田舎暮らしネットワーク	会長 山本福太郎	土佐町を含む嶺北地域の移住希望者への空き家紹介や相談活動。	居住可能な空き家の確保が課題。職員の人件費の工面に苦慮する。
		土佐町	土佐町長 和田守也	第1次産業の担い手確保対策を実施。平成24年度から主に新規就農者の確保のため、3週間程度の研修事業を実施。	新規就農希望者のための雇用就農先又は農地の確保、住宅不足が課題。

2. 地域の強み(良いところ)・弱み(課題)

ワークショップ等の開催を通じ、地域の状況(人口や世帯の状況、農家戸数や農地面積などの農業生産状況、地域内施設の状況、地域資源の状況)、地域における各種団体の取組状況などから地域を見つめ直し、地域の強み(良いところ)を列挙する。

- 人があたたかくで大らかであり、人と人とのつながりが強く、おすそわけ文化など、地域内のコミュニケーションがとれている。
- 各地区それぞれに伝統の祭りが続けられている。
- 土佐町のことが好きな人が多く、来訪者にも親切である。
- 子育て支援が行き届いており、鍵がいらないほど治安も良く、住みやすい。
- ゼンマイやシオデ、イタドリなど、都会ではとれない山菜が豊富にある。
- 筍寿司などの田舎寿司といった、飲食店にはレシピがない郷土料理、伝統料理や保存食文化がある。
- 狸の油やマムシ入り焼酎などの民間療法など、昔から受け継がれた技術や知恵がある。
- うなぎやあめご、あゆ、寒はや、ごりなど、川の魚もおいしい。
- 美しい棚田や星空、山と川など、自然が豊かで、景観がとてもきれいだである。
- 釣りやラフティング、キャンプなど、山や川でのアウトドアの遊びを楽しむことができる。
- 水や空気がきれいでおいしい。
- 野菜や米、果物、土佐あかうしなど、農産物が豊富で味が良い。
- 高速道路のインターチェンジも近く、高知市に出るのも1時間程度である。

地域の強み(良いところ)

ワークショップ等の開催を通じ、地域の状況(人口や世帯の状況、農家戸数や農地面積などの農業生産状況、地域内施設の状況、地域資源の状況)、地域における各種団体の取組状況などから地域を見つめ直し、地域の弱み(課題等)を列挙する。

- 高齢化が進み、地域の行事や活動の担い手の負担が大きくなっている。
- 交通の便が悪く、車がないと暮らせない。
- 耕作放棄地が増えている。
- 鳥獣害がひどくなっている。
- 人口減少や少子高齢化が進行している。
- 若者や移住者が住む家が足りない。
- 魅力的な宿泊施設が少ない。
- 若者が進学や就職で町外に出て戻らない。
- 農林畜産業の後継者が不足している。
- 一次産業の収入が低く、専業では暮らせない。

地域の弱み(課題)

課題解決に向け重点的に活用していく地域資源や取組内容(コンテンツ)

- 【地域資源】 役場の支所・出張所や集落の集会所、コミュニティセンターやシェアオフィス、簡易郵便局やATM、商店、高齢者のサロン活動など
- 【取組内容】 地区の生活を維持し、住民が交流するための機能を、集約した施設を整備することで、住民へのサービス提供の利便性の向上や交流機会の増加を図ると共に、運営コストを低減する
- 【地域資源】 近隣のスーパーや直売所に向けた農産物の集出荷施設と庭先集荷の仕組み
- 【取組内容】 持ち込みおよび庭先集荷先の拡大により、農家の所得の増加と意欲の向上、引いては新規就農者の獲得を図る
また、同集荷機能を活用し、県外販売の拡大も目指す
- 【地域資源】 特別栽培米やブランド化を推進している野菜、近年需要が伸びているあかうし、および、それらを育む豊かな森林と良質な吉野川の水質
- 【取組内容】 関東/関西都市圏でのマーケティング調査に基づく、独自性の高い商品の開発や、豊かな自然環境を活かした直接販売向け有望品目の栽培を行い、さらなる農家所得の増加と意欲の向上、新規就農者や後継者の確保につなげる
- 【地域資源】 農作業の受託やれいほく八菜を始めとする農作物の生産、肉用牛(土佐あかうし)の飼養、米粉加工及び米粉等の販売の受託などを展開する複合拠点である、農業生産法人れいほく未来
- 【取組内容】 マネジメント能力やマーケティング力の養成など、複合拠点を軸とした人材育成により、農業生産法人の経営基盤を強化し、引いては将来の地域社会の維持・発展を図る
- 【地域資源】 宿泊可能なコミュニティセンターや簡易宿泊所、棚田、観光農園や町内の圃場、森林での農林業体験
- 【取組内容】 農林業体験や町民との交流を核とした観光・研修プログラムを開発し、グリーン・ツーリズムやアグリ・ツーリズム、修学旅行や企業研修を受け入れ、地域の活性化を図る

地域の課題解決に向け重点的に活用していく地域の強みや取組内容(コンテンツ)

【地域の強み】 人と人のつながりが強く、地域内のコミュニケーションがとれている。

【取組内容】 石原地区で実施しているような地区の課題に住民の力で取り組む協議会や、集落営農組織を設立することで、高齢者が地域で暮らし続けられる環境を整備し、地域で農地を集約して耕作放棄地の増加を防ぐ。

【地域の強み】 町民が外部の人にも親切であり、子育てや教育が充実していることなどから、移住者や移住希望者が多い。

【取組内容】 企業やNPOと連携し、インターンシップの受け入れや移住希望者の相談窓口の充実、住宅の確保を図り、若い世代の移住や新規就農により、人口増や後継者の確保を目指す。

【地域の強み】 都会ではとれない山菜や、飲食店にはレシピがない郷土料理、伝統料理や保存食、狸の油やマムシ入り焼酎などの民間療法などが豊かである。

【取組内容】 よそにはない資源を、関東/関西都市圏などの飲食店や、直売所や高知市内のスーパー・店舗などで販売し、所得の増加や意欲の向上につなげる。

【地域の強み】 豊かな自然や美しい景観、きれいな水や空気、山や川でのアウトドアの遊びなど、都市部の企業から見て、リフレッシュのための資源が豊富にある。

【取組内容】 コミュニティセンターのシェアオフィスや宿泊施設を活用して、都市部の企業のオフィスや研修および大学の研修を誘致し、交流人口の増加や地域課題解決に向けた外部人材としての活用を図る。

【地域の強み】 野菜や米、果物、土佐あかうしなど、味の良い農産物が豊富にあり、関東/関西都市圏への出荷も翌日着が可能である。

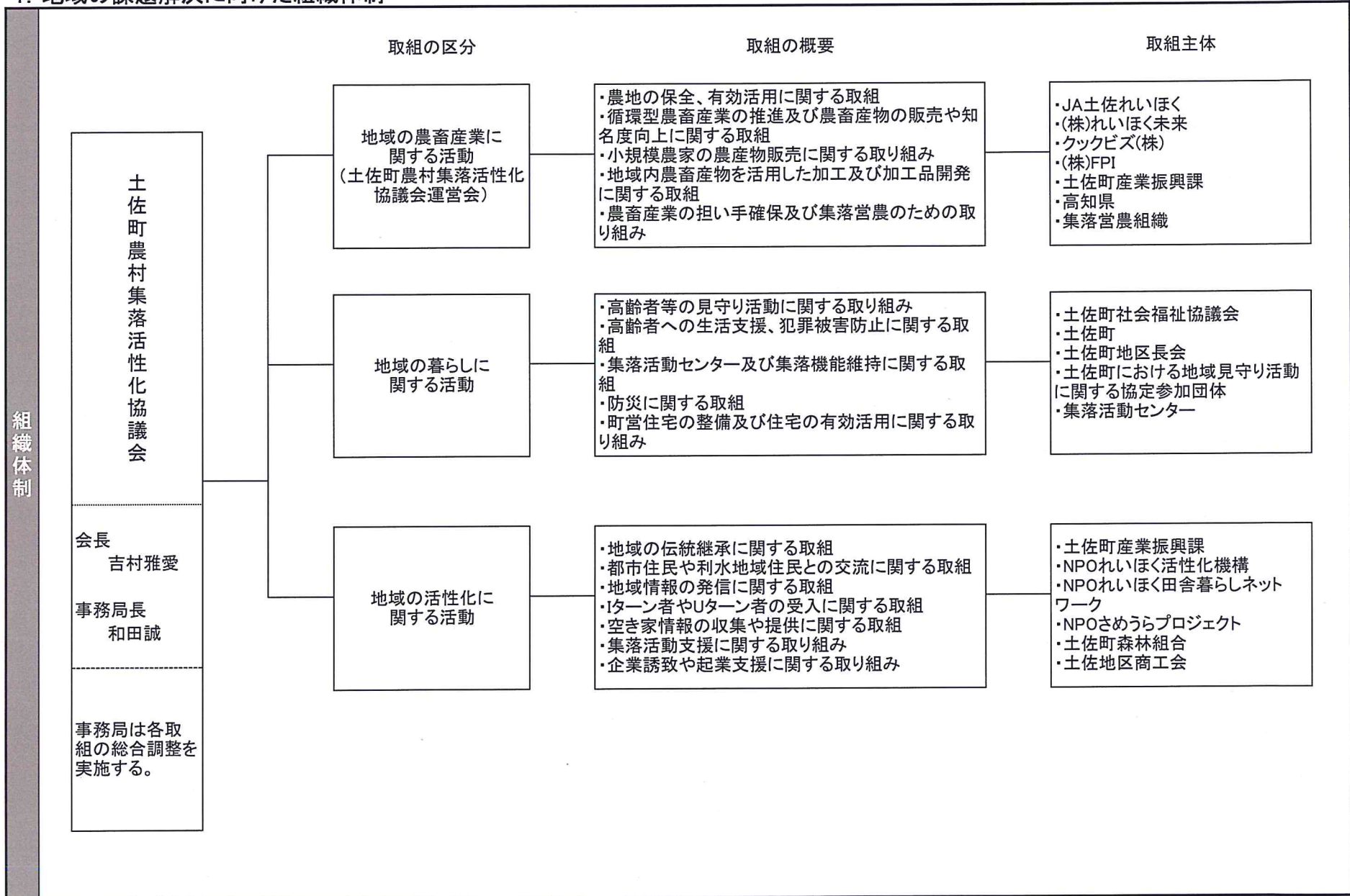
【取組内容】 関東/関西都市圏への飲食店向けの販路を開拓し、農家の所得の増加と意欲の向上、引いては新規就農者の獲得および後継者の確保を図る。

3. 地域の課題解決に向けた具体的な取組

区分	取組内容	取組組織 (取組主体)	取組時期	活用予定 施策等
地域の農業 生産に関する 取組	今後更なる農家の高齢化により、農産物の出荷手段が困難になる生産者が増えることが想定されることから、安心した営農の継続のために庭先での集荷サービスの提供が可能となる体制を構築する。あわせて、庭先出荷サービスに使用する車両や人材を活用し、高齢の出荷する農家の見守りも行う。また、主に小規模農家の直接販売向けの有望品目の実験栽培を行い、結果を作付指導等に活用する。	(株)れいほく未来	H27 ～ H31	農村集落活性化支援事業(農水省)
	担い手不足による耕作放棄地の発生が危惧されており、耕作放棄地発生防止や耕畜連携も視野に畜産用の飼料の生産を増加させるため、飼料収穫用の機械(ロールベアラー・ラッピングマシーン・ディスクモア)の導入を行う。	(株)れいほく未来	H28	農山漁村活性化プロジェクト支援交付金(農水省)
	和牛褐毛和種(「土佐あかうし」)の増頭の取り組みを行っており、ブランド化を図るためにも食肉加工施設の建設を行う。	(株)れいほく未来	H29	強い農業づくり交付金(農水省)
	環境保全型農業の実践により生産された園芸野菜「れいほく八菜」や酒米、香り米、特別栽培米の棚田米のブランド化、ゼンマイ・イタドリなどの山菜、薬草、茶などの地域資源を活かした中山間地に適した農産物の生産・販売の拡大、米粉や土佐あかうしの牛肉等の地域内農畜産物を活用した加工品開発(地域産品づくり)や飲食店向け販路開拓の取組強化を図る。	JA土佐れいほく土佐町	H27～	農畜産物販路拡大事業(土佐町)
	既存の集落営農組織の活動支援及び新規の集落営農組織設立に向けた支援や研修を実施。	既存集落営農組織、土佐町	H27～	集落営農・拠点ビジネス支援事業(高知県)、集落営農組織経営支援補助金(土佐町)
	新規就農者の確保・育成のため、土佐町での営農スタイルを示した提案書の活用による就農希望者の募集、関西圏と連携したインターンシップ事業や就農相談会への参加、複合経営拠点を中心とした研修生の受入体制の充実及び研修終了後のハウス暖簾分け等による円滑な就農及び雇用就農への支援など、一貫した就農支援の取り組みの実施。	土佐町、(株)FPI、(株)れいほく未来等	H25～	新規就農支援事業(土佐町)他、新規就農・経営継承支援事業(農水省)
地域の暮らしに関する 取組	地域内の若者世帯向けの住宅が不足しているため、若者世帯向けの町営住宅の建築を行う。	土佐町	H29	社会資本整備総合交付金(国土交通省)
	JA土佐れいほくが運行する移動販売車に対する助成を実施。	JA土佐れいほく	H27	中山間地域生活支援総合補助金(高知県・土佐町・大川村)
	集落活動センターの運営。	いしはらの里協議会	H25～	集落活動センター推進事業補助金(土佐町)
	利用希望者が利用待機している高齢者福祉施設の建築。	合同会社元気村たい	H27	高知県CLT建築促進事業(高知県)、土佐町の管理地の貸出
地域の活性化に関する 取組	集落支援員の設置。 地域おこし協力隊の配置。(平成27年度中に3名から5名に増員の予定。)	土佐町	H24～	特別交付税の算定対象。
	各地区のイベントや伝統行事の実施。	各行事の実行委員会等	H24～	私のふるさと元気プラン補助金(土佐町)
	旧小学校の一部をシェアオフィスへ改修。	土佐町	H25～H27	移住促進事業(高知県)

具体的な取組内容

4. 地域の課題解決に向けた組織体制



5. 地域の将来ビジョン

○ 地域の暮らしや農業は、地域で支え、維持していく

地域の人口が減少し、高齢化が進行しても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる体制や、生きがいを持って続けられる農業の支援体制など、地域の暮らしや農業を地域で支える仕組みや施設を整備することで、地域の農業を維持し、地域全体の維持や新たな展開を図る。

○ 農家の所得を増やし、若い世代が意欲を持って取り組める産業に発展させる

地産外商を、販路の開拓やマーケティングに基づく生産戦略などによって発展させることで、農家の収入を向上させ、合わせて、農地の集約化など、農業生産法人の経営基盤を強化することで、若い世代が希望を持って、新規就農や事業承継に取り組むことのできる、産業としての農業を実現する。

○ 町外の人との交流や、移住を進め、地域の元気を取り戻す

子育て世代を中心とした移住の促進や、体験型観光の推進により、交流人口や移住者の増加を図り、人口減少に歯止めをかけると共に、外部の視点の活用による地域の活性化を進める。

- 自然環境
- 歴史文化
- 伝統行事・祭り
- 特産品
- その他

土佐町の特産品



棚田米



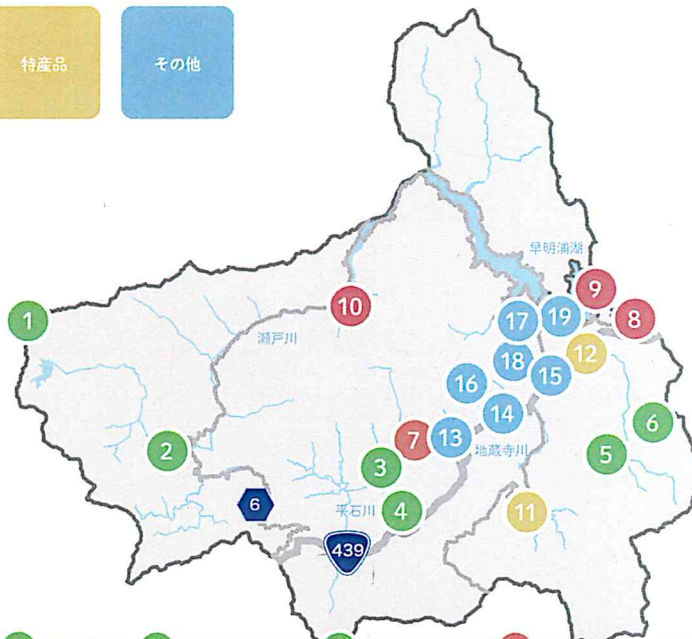
実生のゆず酢



地域ブランド野菜
れいはく八菜



嶺北牛
土佐あかうし



1 稲叢山



2 瀬戸川渓谷



3 森岡りんご園
湖畔りんご園



5 雪化粧に覆われた棚田
溜井



6 幾重に重なる美しい棚田
伊勢川



国の天然記念物
平石の
乳イチョウ



8 中島観音様の大祭



9 やまびこカーニバル



10 南川百万遍祭



株式会社
森チップ嶺北工場



地酒桂月・桂月館



13 西石原クリーン
センター



15 相川クリーン
センター



17 さめうら
クリーンセンター



ご高齢検診・乳幼児健診
土佐町保健センター



19 早明浦ダム

5. 地域の将来ビジョン

地域の将来像 （イメージ図）



農家の所得を増やし、
若い世代が意欲を持って
取り組める産業に発展させる

中山間地に適した 農産物の生産・販売の拡大

環境保全型農業の実践により生産された園芸野菜「れいほく八葉」や酒米、香米、特別栽培米の園田米のブランド化、ゼンマイ・イタドリなどの山菜、漢草、茶などの地域資源を活かした中山間地に適した農産物の生産・販売の拡大、米粉や土佐あかうしの牛肉等の地域内農産物を活用した加工品開発（地域産品づくり）や飲食店向け販路開拓の取組強化を図る。

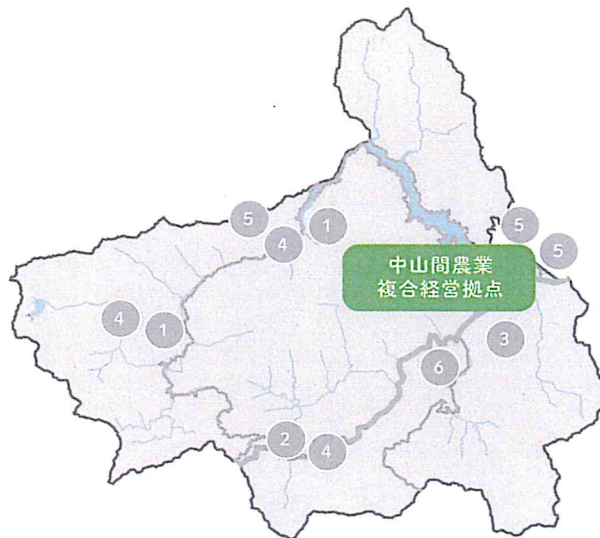
畜産基地と食肉加工施設の建設

和牛褐毛和種（土佐あかうし）の増殖の取組を行っており、ブランド化を図るためにも食肉加工施設の建設を行う。

新たな担い手の確保・育成



新規就農者の確保・育成のため土佐市での農業スタイルを示した提案書の活用による就農希望者の募集、関係機関と連携したインターンシップ事業や就農相談会への参加、複合経営拠点を中心とした研修生の導入体制の充実及び研修終了後のハウス稼働分け等による内定就職及び雇用就職への支援など、一貫した就業支援の取組の実施。



地域の暮らしや農業は、地域で支え、維持していく

集落営農組織の活動支援



既存の集落営農組織の活動支援及び新規の集落営農組織設立に向けた支援や研修を実施。

耕作放棄地の抑制と活用

担い手不足による耕作放棄地の発生が危惧されており、耕作放棄地発生防止や耕種連携も視野に畜産用の飼料の生産を増加させるため、飼料収穫用の機械（ロールバレー・ラッピングマシン・ディスクモア）の導入を行う。

庭先集荷の活用



今後更なる農家の高齢化により、農産物の出荷手段が困難になる生産者が増えることが想定されることから、安心した営農の推進のために庭先での集荷サービスの提供が可能となる体制を構築する。あわせて、庭先出荷サービスに使用する車両や人材を活用し、高齢の出荷する農家の見守りも行う。また、主に小規模農家の直接販売向けの有望品目の実験栽培を行い、結果を作付指導等に活用する。

1 移動販売車に対する支援

JA出払いの旧くが町営バスを移動販売車に活用し、販売活動を行う。

2 集落活動センターの運営

集落活動センターの運営。

3 高齢者福祉施設の建設

旧小中学校の一部を改装して、高齢者福祉施設の建設。



町外の人との交流や、移住を進め、地域の元気を取り戻す

若者世帯向けの町営住宅の建築



地域内の若者世帯向けの住宅が不足しているため、若者世帯向けの町営住宅の建築を行う。

4 集落支援員の設置

集落支援員の設置。地域おこし協力隊の配置（平成27年度中に3名から5名に増員の予定）。

5 各地区のイベントや伝統行事の実施



各地区のイベントや伝統行事の実施。

6 旧小学校の一部をシェアオフィスへ改修



旧小学校の一部をシェアオフィスへ改修。